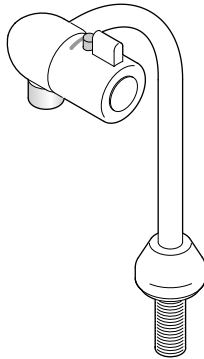


# 工事要領・取扱説明書

製品名：熱湯栓

型 式：NT-1



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。  
設置工事（試運転後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。  
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。  
（この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、  
弊社は一切責任を負いません。）

# もくじ

<b>共通項目</b> .....	<b>2</b>
<b>安全上のご注意</b> .....	<b>3</b>
<b>NT-1について</b> .....	<b>5</b>
各部名称とはたらき .....	5
仕 様 .....	5
<b>工事要領</b> .....	<b>6</b>
<b>施工前にご確認ください</b> .....	<b>7</b>
1. 部品の確認 .....	7
2. 設置場所の確認 .....	7
<b>施工する</b> .....	<b>8</b>
1. 設置、配管する .....	8
2. 設置、配管後の確認 .....	9
<b>取扱説明</b> .....	<b>10</b>
<b>使用方法</b> .....	<b>11</b>
1. 使用前の準備と確認 .....	11
2. 出湯する .....	12
<b>こんなときは</b> .....	<b>12</b>
<b>お手入れの方法</b> .....	<b>13</b>
日常のお手入れ .....	13
ストレーナーの清掃 .....	13
<b>アフターサービス</b> .....	<b>14</b>
消耗品について .....	14
補修用性能部品について .....	14
修理をご依頼の際には .....	14

# 共通項目

## 安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

## 警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。



**警告** この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。



**注意** この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。



△の記号は、注意(警告を含む)をうながす事項を示しています。  
△の中に具体的な注意内容が描かれています。  
(左図の場合は『高温注意』という意味です。)







⊘の記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。  
⊘の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。  
(左図の場合は『分解禁止』という意味です。)



●の記号は、しなければならない行為(強制行為)を示しています。  
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。  
(左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。)

## 重要事項:必ずお守りください

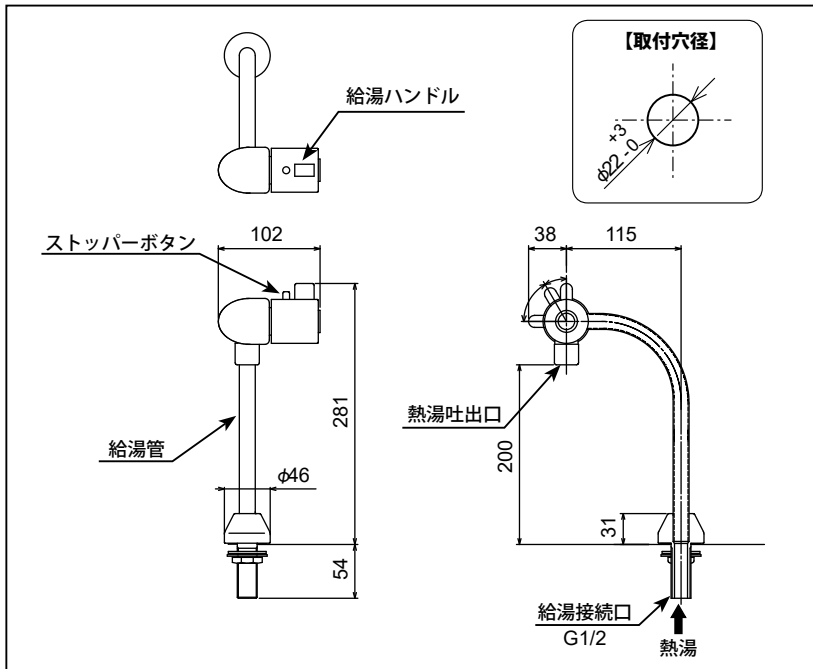
<b>⚠警告</b>	
	給湯中とその直後は高温になっていますので、本体に直接触れないでください。また、熱湯吐水口の下に手を出さないでください。やけどのおそれがあります。

<b>⚠注意</b>	
	<p>本体や給湯管に物を置いたり重いものをぶら下げないでください。故障や漏水の原因となります。</p> <p>本体や給湯管に強い力や衝撃を与えないでください。故障や漏水の原因となります。</p>
	<p>絶対に改造はしないでください。故障や漏水の原因となります。</p>
	<p>水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。配管が破裂してやけどや漏水の原因となります。</p> <p>ハンドル操作はゆっくり行ってください。本体を破損するおそれがあります。</p>

# NT-1について

NT-1は人間工学に基づいて設計された、開放型の壁掛式電気湯沸器EWシリーズおよび密閉型の床置型電気給湯器ES-DW、ESDシリーズ用の熱湯栓です。

## 各部名称とはたらき



## 仕様

一次側給水圧力	0.1MPa以下	周囲温度	0~40℃ (但し凍結のないこと)
一次側使用水温	99℃以下		
一次側使用水质	水道水	設置場所	屋内

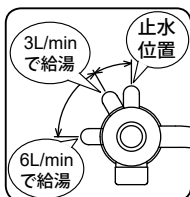
### 給湯ハンドル

下方方向に回して給湯を行います。人間工学に基づいた、使いやすい形状のハンドルです。

### ストッパーボタン

ボタンを押さずに給湯ハンドルを回すと、約2~3L/minの量が給湯されます。押しながら給湯ハンドルを全開にすると約5~6L/minの量が給湯されます。

※給湯量はES-DW、ESDシリーズの場合です。EWシリーズは設置条件によって異なります。



### 給湯接続口

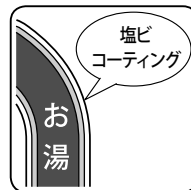
給湯器からの配管を接続します。(G1/2、黄銅製)

### 熱湯吐出口

ここから吐水します。シンクにお湯を流した際に跳ね返りが少ない安全設計です。

### 給湯管

やけど防止のために塩ビコーティングを施してあります。



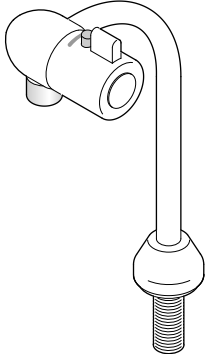




# 工事要領

**正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。**

# 施工前にご確認ください

## 1. 部品の確認

【製品に同梱されています】

NT-1本体	付属品
	<div data-bbox="484 341 622 539">  </div> <div data-bbox="648 440 916 536"> <p>工事要領、取扱説明書×1 (この冊子です。当冊子は工事終了後、ご使用になれる方へお渡しく下さい。)</p> </div> <div data-bbox="518 584 824 703"> <ul style="list-style-type: none"> <li> ← パッキン×1</li> <li> ← 座金×1</li> <li> ← 固定ナット×1</li> </ul> </div>

【お客様にてご手配ください】

- ① 電気湯沸器 EWシリーズ/電気給湯器ES-DW、ESDシリーズ  
NT-1はEWシリーズおよびES-DW、ESDシリーズ用です。
- ② パッキン  
配管接続部分から漏水させないために必要です。  
必ずノンアスベストパッキンをご使用ください。ゴム製のパッキンを使用すると、漏水のおそれがあります。
- ③ 給湯接続管  
湯沸器および給湯器とNT-1を接続するフレキ管などが必要です。

## 2. 設置場所の確認



### チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
メンテナンススペース	メンテナンスのために本体を取り外せるスペースは確保されていますか？ メンテナンススペースが取られていないと、修理やメンテナンスの際に製品を取り外すことができません。	<input type="checkbox"/>
取付場所	水平な場所ですか？ 水平でない場合はお取り付けいただけません。 使用時の負荷に耐えられる場所ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。 →P.8『ワンポイント』参照。	<input type="checkbox"/>

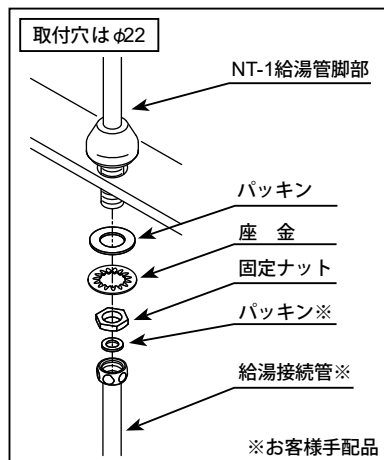


# 施工する

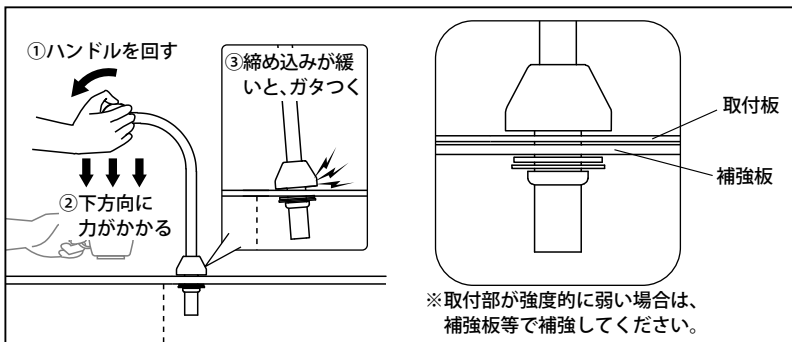
## 1.設置、配管する

<b>⚠注意</b>	
	<b>本体や給湯管に強い力や衝撃を与えないください。</b> 故障や漏水の原因となります。
	<b>水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。</b> 配管が破裂してやけどや漏水の原因となります。

- ① NT-1給湯管脚部裏のはく離紙をはがし、NT-1本体を取り付け穴に差し込みます。吐出口の向きを確認し取り付けます。
- ② パッキンと座金をはさみ込み、固定ナットでNT-1を固定します。
- ③ 給湯接続管の袋ナットにパッキンを入れ、NT-1と給湯器を接続します。



**ワンポイント P** NT-1は前のめりに重量がかかる上に、下部から配管する構造のため、設置作業時に固定金具類の締め込みが足りないと、ねじ込み部が緩みがちになりますので、しっかり固定してください。また、取付部が強度的に弱い場合は、補強板等で補強してください。



### 2.設置、配管後の確認

工事終了後、以下の事項をご確認ください。

#### チェックリスト


項目	チェック内容	チェック
設置工事	がたつきはありませんか？	<input type="checkbox"/>
	各配管、継手に漏水はないですか？	<input type="checkbox"/>





---

# 取扱説明

**正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。**

## 使用方法

<b>⚠ 警告</b>	
	給湯中とその直後は高温になっていますので、本体に直接触れないでください。また、熱湯吐水口の下に手を出さないでください。やけどのおそれがあります。

<b>⚠ 注意</b>	
	本体や給湯管に物を置いたり重いものをぶら下げないでください。故障や漏水の原因となります。
	本体や給湯管に強い力や衝撃を与えないでください。故障や漏水の原因となります。
	絶対に改造はしないでください。故障や漏水の原因となります。
	ハンドル操作はゆっくり行ってください。本体を破損するおそれがあります。

### 1.使用前の準備と確認

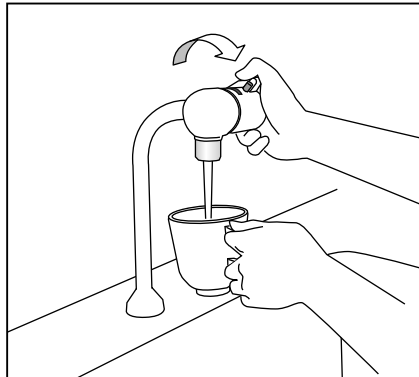
ご使用の前に次の事をご確認ください。

#### チェックリスト

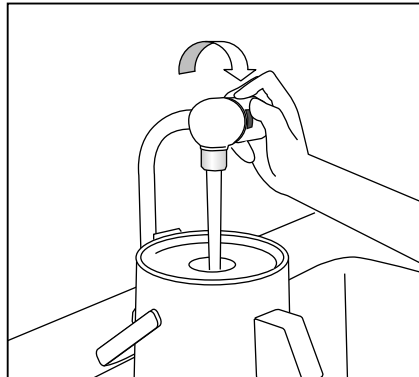
項 目	チェック内容	チェック
本体まわり	がたつきはありませんか？	<input type="checkbox"/>
配管まわり	各配管、継手に漏水はないですか？	<input type="checkbox"/>

## 2.出湯する

【カップ等へ給湯する場合…給湯量:少】  
 ストッパーボタンを押さずに給湯ハンドルを回すと、約2~3L/minの量\*が給湯されます。



【ポット等へ給湯する場合…給湯量:多】  
 ストッパーボタンを押しながら給湯ハンドルを全開にすると約5~6L/minの量\*が給湯されます。



※出湯量はES-DW、ESDシリーズの場合です。EWシリーズは設置状況によって異なります。

## こんなときは

製品が不調な際、修理依頼の前にご確認ください。ここに記載の対処を行っても状態が改善しない場合は、P.14の「アフターサービス」をご参照ください。

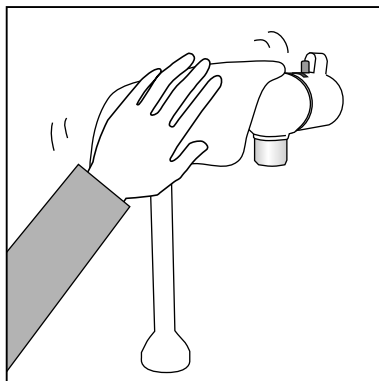
状 況	ご確認ください	対処方法
お湯がぬるい	給湯器は正常に運転していますか？	給湯器の取扱説明書をご参照の上、ご確認ください。
お湯が出ない	給湯器は正常に運転していますか？	給湯器の取扱説明書をご参照の上、ご確認ください。
	断水ではありませんか？	断水が終わるまでお待ちください。
出湯量が少ない	配管が凍結していませんか？	とけるまでお待ちいただき、その後は管理技術者の方に凍結防止処置をご依頼ください。
	止水栓は十分に開いていますか？	止水栓を全開にしてください。
	配管やNT-1のストレーナーに詰まりはありませんか？	P.13「ストレーナーの清掃」をご参照の上、清掃してください。配管に関しては管理技術者の方にご相談ください。
	給湯器は正常に運転していますか？	給湯器の取扱説明書をご参照の上、ご確認ください。
吐出口からポタ落ちする	配管に異常はありませんか？	管理技術者の方にご相談ください。
	ハンドルが開いていませんか？	ハンドルを閉めても改善されない場合は、アフターサービス窓口にご連絡ください。

# お手入れの方法

## 日常のお手入れ

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量にうすめた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。

**お手入れの際は、力を掛けすぎないようにご注意ください。**



## ストレーナーの清掃

管理技術者の方のみ

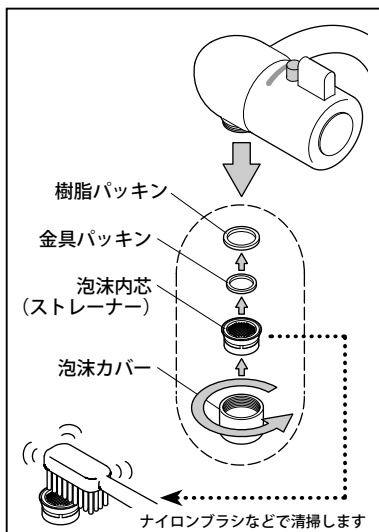
### ⚠注意



**絶対に改造はしないでください。  
故障や漏水の原因となります。**

NT-1には配管のゴミなどをろ過するための「ストレーナー」が入っています。このストレーナーが詰まると流量不足などの原因となりますので、定期的に清掃を行ってください。

- ① 止水栓を完全に締めた後、給湯器の電源をOFFにします。
  - ② 右図のように泡沫カバーを熱湯栓本体から取り外し、内部から泡沫内芯(ストレーナー)を取り出して、ナイロンブラシなどで清掃します。
- ※ 泡沫カバーを取り外す際、熱い湯が残っている場合がありますので、充分時間を置いてから作業を行なってください。
- ③ 清掃終了後は、取り外した部品類を右図の順でしっかりと取り付けてください。



## アフターサービス 消耗品について

下記に記載の部品は定期的に交換が必要な消耗部品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため定期的に交換してください。(下表参照) 交換(有償)、購入のご依頼はアフターサービス窓口にご依頼ください。

部品名	交換時期の目安	交換いただく理由
パッキン類	設置、交換日より2年	長期間で使用いただくことにより経年劣化やスケール※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。
コマ、スピンドル	設置、交換日より3年	※水道水中のミネラル分が固着したものを。

※使用頻度、環境によっては交換時期が早まる場合があります。

## 補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

## 修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.15の故障状況シートの必要事項にご記入いただき、お電話またはインターネット、FAXにてご連絡ください。(型番や製造番号等は本体貼り付けの保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。)

### アフターサービス窓口

TEL

〈全国共通ナビダイヤル〉



一般電話・公衆電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

**0570-011039**

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

受付時間:24時間 365日(営業時間:8:45~17:45)

一般電話・公衆電話の場合は市内電話料金でご利用可能、携帯電話からも接続可能です。

#### 【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直してください。※PHS、IP電話からはご利用になれません。その場合、以下の窓口にお問い合わせください。

関東地区のお客様: 03(3621)2161 関東地区以外のお客様: 裏表紙記載の最寄りの営業所・地区販売会社にお問い合わせください。

インターネット

〈インターネット修理受付窓口〉

<https://www.itomic.co.jp/repair/>

インターネットのフォームにて修理のご依頼を受け付け致します。入力内容の確認および訪問日の調整のため、お申込み頂いた翌営業日に担当者よりご連絡を差し上げます。

FAX

〈FAX修理受付窓口〉 03-3621-2163

FAXで修理のご依頼を受け付け致します。P.15の故障状況シートに記載の上、最寄りの営業所・地区販売会社へお送りください。(裏表紙に記載)

故障状況シート	
貴社名	
ご担当者名	
ご住所	
T E L	
F A X	
製品型番	熱湯栓 NT-1
状態	





## 【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から1年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、アフターサービス窓口までご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、アフターサービス窓口にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にアフターサービス窓口にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
  - (1) お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・湯槽内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
  - (2) Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
  - (3) 工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
  - (4) 輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
  - (5) 専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
  - (6) 指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
  - (7) 温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
  - (8) 設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
  - (9) 電気・給水の供給トラブル等による不具合
  - (10) 配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
  - (11) 建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合

- (12) 火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
- (13) 保証票の提示が無い場合
- 6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
- 7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のお手入れとはお客様ご自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

## ■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧くださいか、アフターサービス窓口までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

# 株式会社 **日本イトミック**

本社・営業本部 …… TEL : 03 (3621) 2121 (代)  
FAX : 03 (3621) 2130  
〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2  
東京スカイツリーイーストタワー 24F  
ホームページ <https://www.itomic.co.jp/>

## 《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル部までご連絡ください。  
また、部品のご注文はアフターサービス窓口で承っています。

リニューアル部 …… TEL : 03 (5860) 4992  
FAX : 03 (3621) 2163

## 《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。



一般電話・公衆電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

**0570-011039**

### 【ナビダイヤルに関するご注意】

- ※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
- ※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。
- その場合には、時間を置いて再度おかけ直してください。
- ※PHS、IP電話からはご利用になれません。その場合には関東地区のお客様は以下の窓口、その他の地域のお客様は最寄りの営業所・地区販売会社まで直接お電話ください。

関東地区 …… TEL : 03 (3621) 2161  
FAX : 03 (3621) 2163

## 《担当エリアと営業所・地区販売会社》

北海道地区 …… TEL : 011 (615) 6681  
FAX : 011 (615) 7004  
(株) 北海道イトミック  
〒063-0801 北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10 (ラポール 24 軒 2 号館)  
担当エリア：北海道地区全域

東北地区 …… TEL : 022 (357) 0848  
FAX : 022 (357) 0847  
(株) 日本イトミック 東北営業所  
〒983-0014 宮城県仙台市宮城野区高砂 2-8-21  
担当エリア：青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県

関東・新潟・山梨・静岡地区 …… TEL : 03 (3621) 2121  
FAX : 03 (3621) 2130  
(株) 日本イトミック  
〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 (東京スカイツリーイーストタワー 24F)  
担当エリア：東京都/千葉県/埼玉県/茨城県/栃木県/群馬県/神奈川県/山梨県/新潟県/静岡県

中部・北陸地区 …… TEL : 052 (222) 2561  
FAX : 052 (222) 2559  
(株) 日本イトミック 中部営業所  
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12 (アレックスビル 3F)  
担当エリア：富山県/石川県/福井県/岐阜県/愛知県/三重県/長野県

近畿地区 …… TEL : 06 (6226) 0800  
FAX : 06 (6226) 0802  
(株) 日本イトミック 関西営業所  
〒541-0048 大阪府大阪市中央区瓦町 3-4-7 (KCビル 9F)  
担当エリア：大阪府/京都府/滋賀県/和歌山県/奈良県/兵庫県

中国・四国地区 …… TEL : 082 (240) 1361  
FAX : 082 (240) 1363  
(株) 日本イトミック 中国営業所  
〒730-0051 広島県広島市中区大手町 2-3-9 (大手町中村ビル 2F)  
担当エリア：鳥取県/島根県/岡山県/広島県/山口県/香川県/徳島県/愛媛県/高知県

九州・沖縄地区 …… TEL : 092 (481) 3911  
FAX : 092 (481) 3930  
(株) 日本イトミック 九州営業所  
〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5  
担当エリア：福岡県/佐賀県/長崎県/大分県/熊本県/宮崎県/鹿児島県/沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。